

やまぐちっ子学力向上だより

第163号 R.8.2.13

山口県教育庁義務教育課

ふれあい夢通信第81号でも紹介した内容を、改めてお伝えします。

やまぐちっ子家庭学習推進協議会を開催しました

県教育委員会では、家庭と学校の学びの好循環を創出するために、昨年度から「やまぐちっ子家庭学習推進協議会」を開催しています。本号では、委員の協議内容を踏まえながら、学校と家庭での学びをどのようにつないでいくかについて、現状や課題を整理し、今後の取組の視点を共有します。児童生徒の確かな学力の育成に向けた取組の一助となりますように、本号を御活用ください。



家庭学習における現状や課題について

家庭学習に関しては、児童生徒、教師、保護者それぞれの立場から、次のような現状や課題が見られることはないでしょうか。



また、令和7年度全国学力・学習状況調査の児童生徒質問調査では、学習時間の減少や、学び方の工夫ができていない児童生徒が多いことが明らかになっています。

【質問】学校の授業時間以外に、普段、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。

	「30分より少ない」と回答した児童の割合	
	小学校	中学校
R 3 山口県	10.3%	8.1%
R 7 山口県	15.3%	15.8%
R 7 全国	18.6%	19.0%

小・中学校ともに学習時間
30分未満の割合が増加

【質問】分からぬことや詳しく知りたいことがあったときに、自分から学び方を考え、工夫することはできていますか。

	「できている」と回答した児童の割合	
	小学校	中学校
R7 山口県	29.4%	26.5%
R7 全国	32.6%	27.4%

家庭と学校の学びの好循環を促すために

このような現状や課題を解決していくために、学校や家庭、地域ではどのような支援ができるでしょうか。主な取組例を紹介します。

【学び方の工夫】

- 家庭学習の成果物を児童生徒が見合って、学び方を参考にできるようにしている。
- 生成AIを活用して、解き方を相談したり、類似問題を作成して解いたりしている。

【家庭学習への動機付け】

- 児童生徒の興味・関心や課題に応じて、家庭学習を選択できるようにしている。
- 終学活の時間に家庭学習の計画を立て、家庭学習への見通しをもって下校している。
- 家庭学習で課した課題を次の授業で取り上げたり、家庭学習の取組を教師や地域の方が価値付けたりして、フィードバックをするようにしている。

【学校・家庭・地域が一体となった取組】

- 家庭学習の意図を保護者に伝え、学校と家庭が共に学習を支援できるようにしている。
- ICTや生成AI等の活用方法を保護者や地域の方に説明したり、実際に体験できる機会を設けたりして、児童生徒の学習への理解を深める機会を設けている。
- 補充学習の時間に、保護者や地域の方による学習支援の機会を設けている。

家庭と学校の学びを好循環させるためには、家庭学習において、学校の授業だけでは十分に理解できていない部分を補ったり、次の授業に見通しをもって臨んだりすることができるよう、復習と予習を適切に位置付けることが重要です。その際、児童生徒が学び方を工夫したり、学習への意欲を高めたりできるよう、学校・家庭・地域が一体となって支援していくことが求められます。本号で紹介した取組を参考にしながら、各学校において組織的、計画的に取組を進めていただきたいと思います。

おしゃせ

生成AIの利活用について

「R7 生成AI情報共有クラス（Google クラスルーム）」に、多くの方に御参加いただいております。スタディポケットのことだけでなく、生成AIの利活用全般について、情報共有をしております。小学校の先生方の参加もお待ちしております。

クラスコード 6522hvd ※各市町で付与されている Google アカウントで参加が可能です。

